特殊詐欺対策ニュース

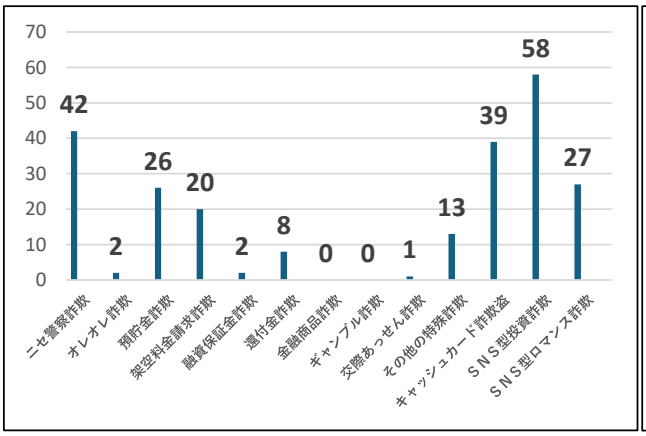
令　和　8　年　5　月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和8年4月末）

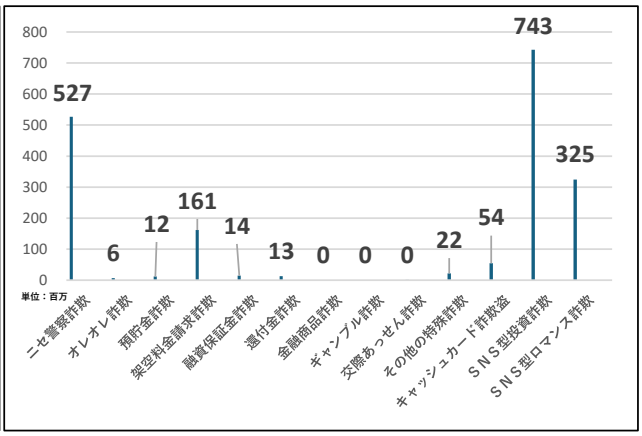
1　特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R8	238	1,876,716,381
	R7	208	1,067,871,441
	増減数	30	808,844,940
ニセ警察詐欺	R8	42	526,552,710
	R7	28	152,864,262
	増減数	14	373,688,448
オレオレ詐欺	R8	2	6,220,000
	R7	13	60,650,000
	増減数	-11	-54,430,000
預貯金詐欺	R8	26	11,654,000
	R7	45	57,620,000
	増減数	-19	-45,966,000
架空料金請求詐欺	R8	20	161,371,729
	R7	49	52,226,226
	増減数	-29	109,145,503
融資保証金詐欺	R8	2	14,220,953
	R7	5	810,236
	増減数	-3	13,410,717
還付金詐欺	R8	8	12,670,639
	R7	8	10,028,444
	増減数	0	2,642,195
金融商品詐欺	R8	0	0
	R7	0	0
	増減数	0	0
ギャンブル詐欺	R8	0	0
	R7	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R8	1	92,000
	R7	0	0
	増減数	1	92,000
その他の特殊詐欺	R8	13	21,829,035
	R7	7	14,243,827
	増減数	6	7,585,208
キャッシュカード詐欺盗	R8	39	54,396,000
	R7	3	5,999,000
	増減数	36	48,397,000
ＳＮＳ型投資詐欺	R8	58	743,148,403
	R7	17	233,235,710
	増減数	41	509,912,693
ＳＮＳ型ロマンス詐欺	R8	27	324,560,912
	R7	33	480,193,736
	増減数	-6	-155,632,824

認知件数（R8）



被害額（R8）



○　令和8年4月末現在の認知件数は238件（R7年4月末：208件）で前年に比べ30件増加し、被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上）の割合が約47.1％(令和７年：約50.5％)となっており、約半数が高齢者の方となりました。

○　令和8年4月末現在の被害額は約18億7,700万円（R7年4月末：約10億6,800万円）で前年に比べ約8億880万円増加し、SNS型投資詐欺及びニセ警察詐欺の被害額が全体の約7割を占めました。

2　令和８年４月中に認知した主な事件

⑴　還付金詐欺

令和８年４月、年金事務所職員を名のる男から電話があり、「還付金があります。」「どこの銀行を利用していますか。」などと言われ、銀行名を伝えたところ、同銀行の行員を名のる男から電話があり、還付金の受取手続きで必要になる旨の説明をされ、指示に従いATMを操作したところ、他人名義の口座に合計120万円が送金され、だまし取られた。

⑵　SNS型投資詐欺

令和７年12月、SNS上で見つけた株の投資に関する広告にアクセスしたところ、投資会社社員を名のる者からLINEグループに招待され、やり取りをする中で投資話を持ちかけられ、令和８年１月28日から同年３月17日までの間に複数回にわたり、指定された口座に現金合計2,200を送金し、だまし取られた。

3　被害防止ポイント

○　SNS上には、投資に関する詐欺動画や詐欺広告が多数存在します。SNSやインターネットで知り合った者から、**LINEなどのSNSグループに招待されて投資を勧められる**ケースが多いです。見知らぬ者から投資を勧められた場合は詐欺を疑ってください。

○　**絶対に儲かる投資はありません。**「必ず儲かる」「確実に利益が出る」などの甘い投資話には乗らないでください。

○　犯人は**毎回違う口座（個人名義や法人名義）**を振込先として指定するケースが多いです。

○　区役所職員や銀行員等を名のる者から電話で**「還付金がある」**と言われた場合は詐欺です。

○　特殊詐欺の約８割は犯人からの電話がきっかけで被害に遭っており、そのうち約７割は国際電話番号が利用されています。**下記アプリ（警察庁が推奨する詐欺対策アプリ）をスマートフォンにインストールすることで国際電話番号からの着信をブロックできる**ため、多くの方にインストールを推奨します。